

## (2) 下水道事業会計の収支見通し(資料1) (経営管理課)

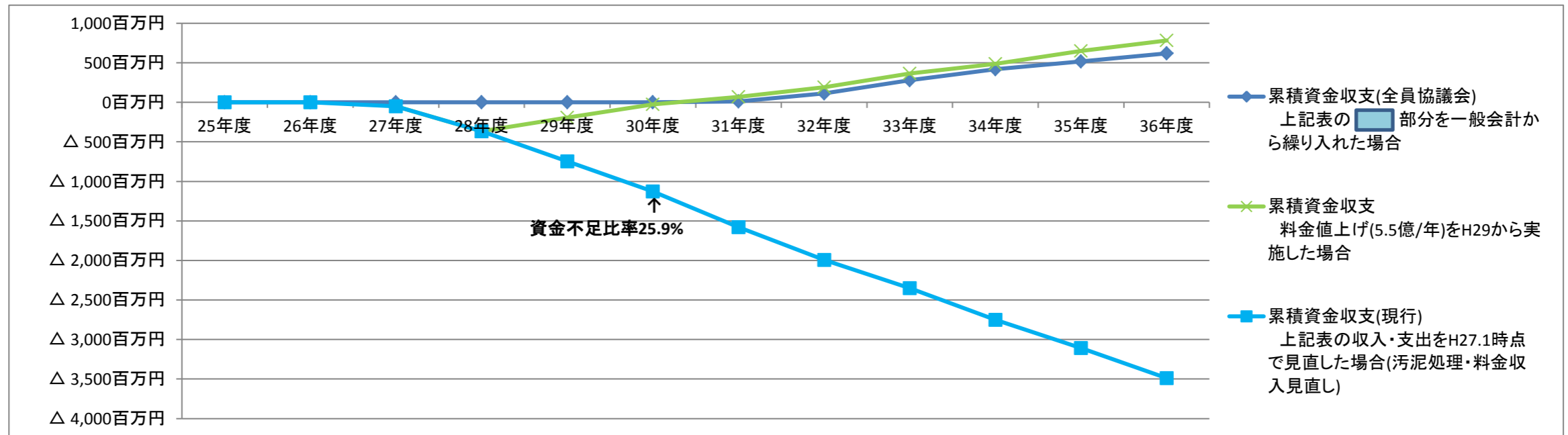
### 下水道事業の経営改善について

＜下水道事業財政収支見通し（平成25年11月議会全員協議会資料より抜粋）＞

(単位：百万円)

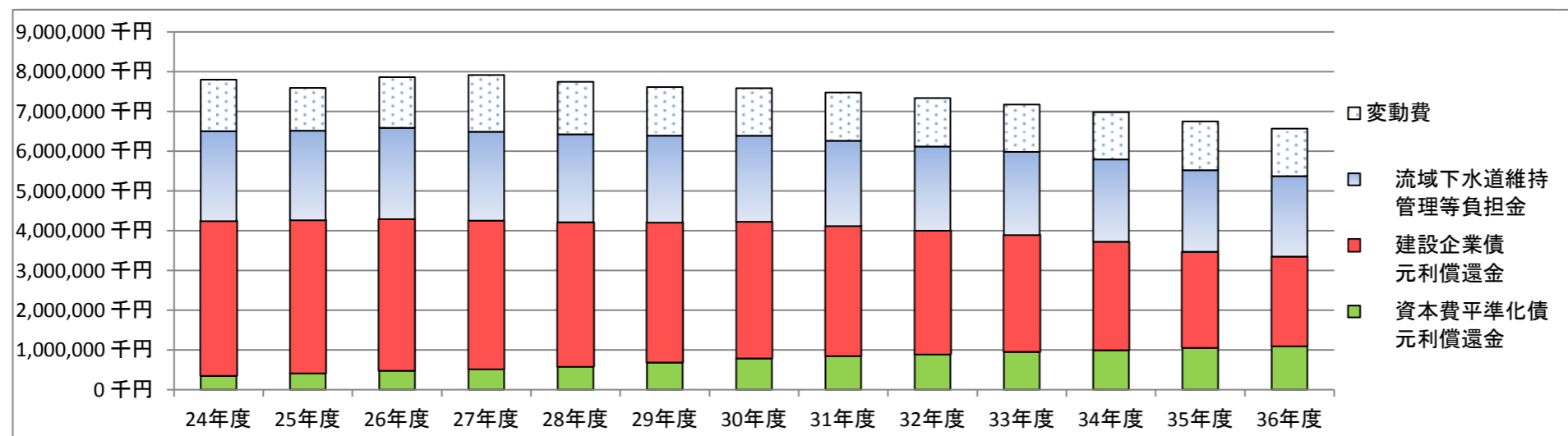
科目	24年度 (決算)	25年度 (予算)	26年度 (予測)	27年度 (予測)	28年度 (予測)	29年度 (予測)	30年度 (予測)	31年度 (予測)	32年度 (予測)	33年度 (予測)	34年度 (予測)	35年度 (予測)
収益的収入	6,622	6,931	7,387	7,377	7,203	7,153	7,111	7,097	7,038	6,987	6,924	6,909
収益的支出	8,498	8,177	8,034	7,989	7,742	7,631	7,557	7,497	7,416	7,333	7,243	7,231
差引	△1,876	△1,246	△647	△612	△539	△478	△446	△400	△378	△346	△319	△322
資本的収入	6,032	4,003	3,238	3,012	2,983	3,017	3,041	3,013	3,008	2,988	2,822	2,860
資本的支出	5,693	4,377	4,573	4,335	4,357	4,352	4,449	4,377	4,314	4,263	4,153	4,228
差引	339	△374	△1,335	△1,323	△1,374	△1,335	△1,408	△1,364	△1,306	△1,275	△1,331	△1,368
補填財源	△232	374	952	1,003	1,061	1,128	1,164	1,214	1,241	1,271	1,295	1,292
当年度資金収支	107	0	△383	△320	△313	△207	△244	△150	△65	△4	△36	△76
↓当年度資金収支内訳↓												
公共	107	0	△249	△207	△181	△60	△88	12	101	165	140	100
農集	0	0	△134	△113	△132	△147	△156	△162	△166	△169	△176	△176

### ○ 資金収支の検討案



※平成29年度に料金改定を行った場合。基準内・基準外繰入あり。

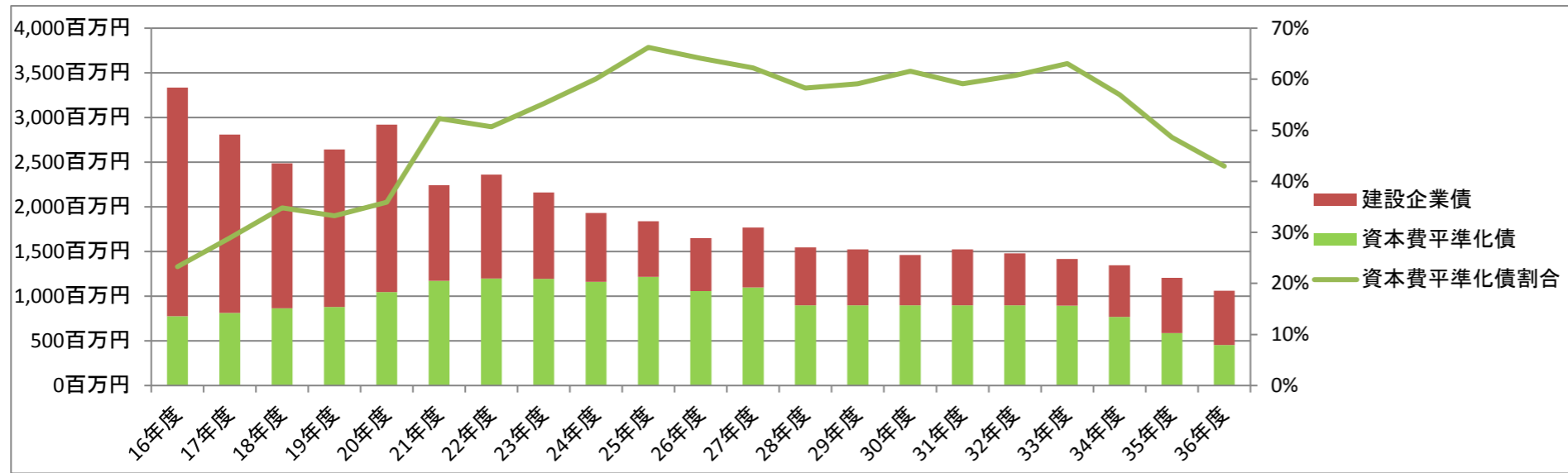
○ コスト内訳



単位:千円

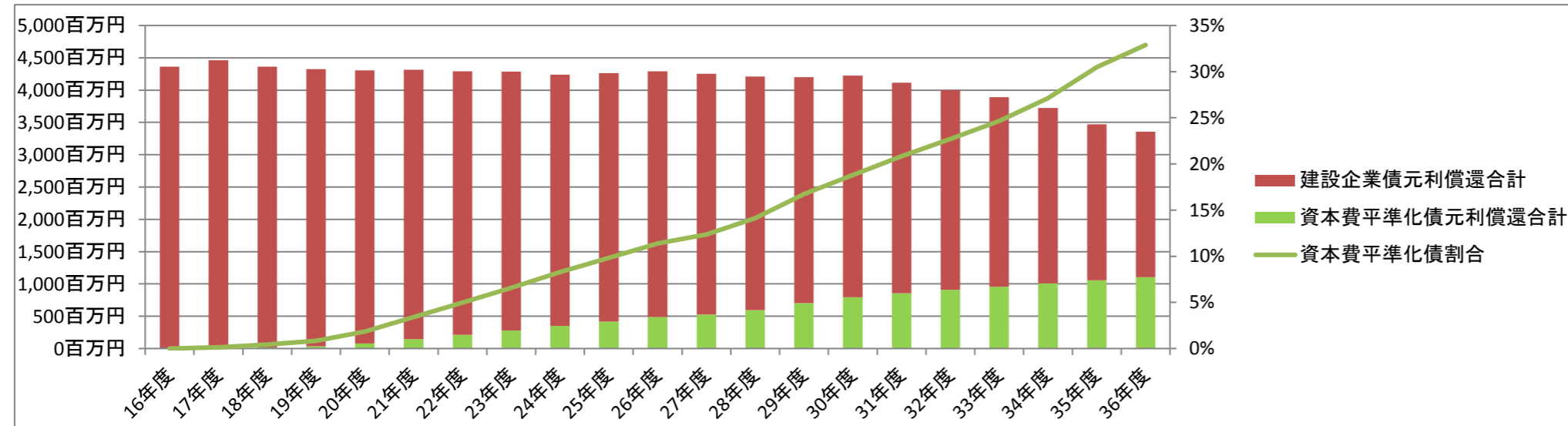
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
<b>変動費</b>	1,297,092	1,076,579	1,274,842	1,427,203	1,320,618	1,222,523	1,195,664	1,214,145	1,218,835	1,189,988	1,188,138	1,226,727	1,196,442
人件費	402,488	386,060	380,650	359,711	342,920	317,420	317,420	317,420	317,420	317,420	317,420	317,420	317,420
運転管理費	562,630	578,908	681,655	691,978	690,222	688,372	686,525	685,135	682,825	680,978	679,128	677,717	675,432
その他	331,974	111,611	212,537	375,514	287,476	216,731	191,719	211,590	218,590	191,590	191,590	231,590	203,590
<b>固定費</b>	6,502,008	6,515,341	6,587,781	6,488,811	6,424,278	6,390,297	6,388,825	6,262,168	6,117,570	5,983,327	5,792,866	5,522,105	5,371,745
流域下水道維持管理等負担金	2,263,386	2,253,841	2,298,000	2,235,501	2,212,562	2,188,894	2,165,249	2,147,471	2,117,936	2,094,290	2,070,623	2,052,585	2,023,332
建設企業債元利償還金	3,886,873	3,842,420	3,801,248	3,727,085	3,616,990	3,498,086	3,428,777	3,257,150	3,090,844	2,930,193	2,713,415	2,411,928	2,243,646
元金	2,864,243	2,933,619	2,991,738	3,021,838	2,964,208	2,912,954	2,907,971	2,800,296	2,694,098	2,592,579	2,432,055	2,182,561	2,053,719
利息	1,022,630	908,801	809,510	705,247	652,782	585,132	520,806	456,854	396,746	337,614	281,360	229,367	189,927
資本費平準化債元利償還金	351,749	419,080	488,533	526,225	594,726	703,317	794,799	857,547	908,790	958,844	1,008,828	1,057,592	1,104,767
元金	226,815	292,138	361,885	397,112	467,328	578,100	671,932	737,890	792,092	846,303	900,523	954,751	1,008,976
利息	124,934	126,942	126,648	129,113	127,398	125,217	122,867	119,657	116,698	112,541	108,305	102,841	95,791
<b>全体額</b>	<b>7,799,100</b>	<b>7,591,920</b>	<b>7,862,623</b>	<b>7,916,014</b>	<b>7,744,896</b>	<b>7,612,820</b>	<b>7,584,489</b>	<b>7,476,313</b>	<b>7,336,405</b>	<b>7,173,315</b>	<b>6,981,004</b>	<b>6,748,832</b>	<b>6,568,187</b>

○ 起債借入額内訳



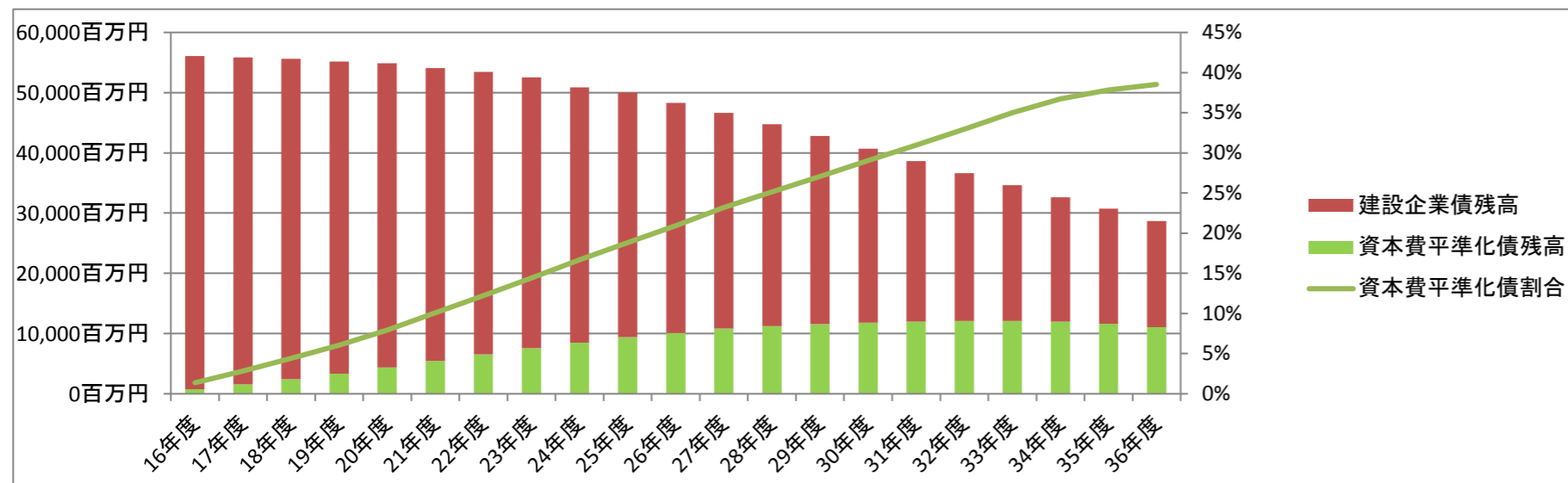
※ 資本費平準化債は平成16年度から制度化された。

○ 起債償還額内訳



※ 資本費平準化債の元金償還は3年据置のため、平成19年度までは利子のみの支払いである。

○ 起債残高内訳



## 費用構成表（平成27年度）

（単位：千円）

	項 目	金 額	割 合
変動費	人 件 費	359,711	4.6%
	職員給与費	347,291	4.4%
	退職給付引当金	12,420	0.2%
	運 転 管 理 費	691,978	8.7%
	管 渠 費	128,463	1.6%
	ポ ン プ 場 費	30,409	0.4%
	処 理 場 費	533,106	6.7%
	そ の 他	375,514	4.7%
	消費税及び地方消費税	150,000	1.9%
	退職金	91,535	1.2%
	長寿命化計画策定委託	51,615	0.6%
	貸倒引当金	22,828	0.3%
	その他経常費用	59,536	0.7%
	小 計	1,427,203	18.0%
固定費	流域下水道管理費	2,235,501	28.3%
	建設企業債元利償還金	3,727,085	47.1%
	元 金	3,021,838	38.2%
	利 息	705,247	8.9%
	資本費平準化債元利償還金	526,225	6.6%
	元 金	397,112	5.0%
	利 息	129,113	1.6%
	小 計	6,488,811	82.0%
全 体 額		7,916,014	100.0%

## (2) 「奈良都市計画下水道事業受益者負担に関する条例等」の改正について(資料2)

### 目的

1. 下水道整備にかかる住民負担の更なる公平性の確保を目的として条例改正を行うものです。
2. 土地所有者の変更等によるトラブルを防ぐため、工事完了から受益者負担金賦課までの期間短縮をはかります。

### 改正の内容

1. 下水道本管施工時に、全ての接続可能な区域を供用開始区域に含め、原則として取付ます設置の有無に関わらず受益者負担金を賦課します。ただし、農地、空き地等については受益者負担金の賦課の保留を明確にするため、新たに賦課保留基準を設けます。(条例改正)
2. 受益者負担金の賦課対象区域の決定等について、前年度に下水道本管整備工事完了分をまとめて年度当初に告示してきましたが、下水道本管整備から遅滞なく告示を行えるように改めます。(条例改正)
3. 取付ますの後付施工については、従来、市で負担してきましたが、今後は自己負担とします。ただし、上記1の基準を準用して例外規定を設けます。また、整備済みの区域は3年間の経過措置を設けます。(下水道条例施行規程の改正)

